

## 課題と今後の方向性（骨子案）

### 1．技術的な課題

#### (1)周波数帯等無線における課題

周波数帯域の適正  
周波数帯域の競合  
電波の出力

#### (2)システムの物理的な条件に関する課題

端末の大きさ  
電源の持続

#### (3)システムの機能に関する課題

ZigBee アライアンス仕様  
・ 伝送スピード（250kbps 以上へ）  
・ 動態仕様の機能追加等  
ノード数規模能力の拡大  
親機、中継機的能力向上  
位置把握の正確性  
画面の見やすさ、わかりやすさ  
通信の安定性

### 2．その他（実用化）の課題

#### (1)セキュリティ、プライバシー保護

試験機間の電波の暗号化  
子供・保護者・地域住民の理解の促進

#### (2)システムコスト

初期費用、ランニングコスト、利用者負担、端末の価格

#### (3)運用

端末の大きさ、強度、携帯しやすさ、操作性  
端末の省電力化（電池交換の長期化）  
端末の耐久性（耐水性）

### 3．今後の方向性

- (1)効率的な電波活用と帯域
- (2)標準化、機能高度仕様化
- (3)信頼性向上
- (4)利用範囲の拡大
- (5)さらなる機能改善
- (6)コストの低減